

令和5年度 第1回 新宿区住宅まちづくり審議会 意見要旨

委員名	マンション管理適正化推進計画について	その他ご要望など	事務局の回答
<p>三井委員</p>	<p>・構成について まず、計画全体の構成についてですが、第2章で客観データを用いながら新宿区のマンションの特徴を捉えた上で、第3章で基本的な考え方や目標のポイントを押さえ、第4章以下に入っていくという流れは大変わかりやすいものだと感じました。（ただし、データの取扱いや各論の内容については、各委員からのご指摘を踏まえて、引き続き、整理されたらよろしいかと思います）</p> <p>・コミュニティ形成支援について 本計画において、コミュニティ形成支援を軸に据えたことは、貴区のマンションストックの状況、居住者特性等を踏まえた意義深い特長だと考えております。 その上で、マンション内部のコミュニティ（高齢、単身、外国人など）と、受け皿としての地域コミュニティ（町会・自治会の高齢化、担い手不足など）の2つの課題が話題になったと思います。 その2つが連携して、将来の望ましい地域コミュニティを形成していくための支援策があるとよいと思いますが、私の意見といたしましては、資料1【概略版】の施策⑥「地域コミュニティ事業助成（既存事業）」の概要欄に記載された「マンションと町会、自治会共催による（夏祭り）」や「複数団体と連携して行う事業の場合（額の上乗せ）」といった、地域コミュニティや他団体との共催や連携を促すような施策の打ち方にヒントがあるような気がしました。</p>		<p>いただいたご意見を参考にマンション管理適正化推進計画の内容を引き続き検討してまいります。また、ご提案いただいた施策についても、今後研究してまいります。</p>
<p>佐藤雅明委員</p>	<p>・マンション管理適正化推進計画の策定について 地域コミュニティを形成する活動等に関与してきた立場からの意見として、基本方針3のマンションのコミュニティ活性化の支援を意図した観点から、以下2点をご提案します。</p> <p>・コミュニティ形成を意図した大規模改修等への助成 築年数が古く、新耐震基準に適合していないなど、大規模改修を行うことが望ましいマンションが、長期修繕計画に基づき、耐震工事などとともに構造的な改修を行い、共用部にキッチンや交流スペースを設けたりするなどの工事を行う場合に、工事費用等の一部を助成する事業を実施できないか。</p> <p>・マンション内および周辺のコミュニティ形成に資する活動への事業助成 既存事業として、地域コミュニティ課による地域コミュニティ事業助成があり、マンション管理組合も助成対象団体として活用可能な状況であるが、予算が各出張所地区内で200万円とかなり少なく、多くのマンションが活用しようとした場合には、必ずしも助成を受けられないことも想定される。例えば住宅課も地域コミュニティ課と横断の共同事業とするなどし、助成事業をより拡張できないか。またマンション管理組合等に助成事業の活用を促すために、助成申請のための支援を区役所窓口で積極的に行うなどできないか。</p>		<p>いただいたご意見を参考にマンション管理適正化推進計画の内容を引き続き検討してまいります。また、ご提案いただいた施策についても、今後研究してまいります。</p>
<p>西山委員</p>	<p>データはいろいろな事が読めるが故に、すっきりさせたほうが、区民には伝わりやすいです。</p> <p>※この他、西山委員からは、資料2 マンション管理適正化推進計画素案（案）に対する詳細なコメントの提出があった。</p>		<p>いただいたご意見を参考にマンション管理適正化推進計画の内容を引き続き検討してまいります。</p>